



コンダクト SL ディスクブレーキシステム 取扱説明書



<u>Model Year:</u>	MY19
<u>Model Name:</u>	コンダクト SL ディスクブレーキ
<u>Purpose:</u>	FOR GIANT DEALERS ONLY

目次

重要なお知らせ	3
必要な工具.....	4
補修用パーツ.....	5
部品名称	6
キャリパーとマスターシリンダー本体の取り付け.....	7
ブレーキアウターケーブルの取り付け	8
油圧ブレーキホースの取り付け	10
インナーケーブルとマスターシリンダーの接続	11
フリーストロークの調整.....	12
油圧ブレーキホースの長さ調整.....	13
ブリーディング.....	14
ブレーキパッドの交換.....	18

重要なお知らせ

この製品は、GIANT CONTACT SL、CONTACT、および CONNECT シリーズのジャイアント製ステムにのみ対応します。

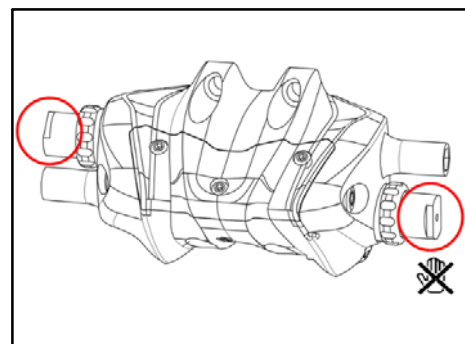
警告【重要】

ジャイアントが認可しないディスクローターを組み合わせて、コンダクト SL ブレーキシステムを使用すると、保証が無効になります。適合しないディスクローターを使用すると、制動能力が十分に発揮されない可能性があり、深刻なケガまたは死亡を引き起こす可能性があります。適合するディスクローターについては、ジャイアント正規販売店にお問い合わせください。

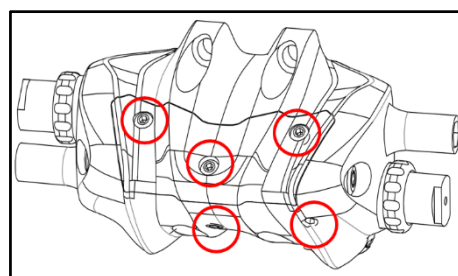
警告【重要】

ジャイアントが推奨しないブレーキパッドを組み合わせてコンダクト SL ブレーキシステムを使用すると、保証が無効になります。ブレーキパッド全体の厚さ(パッド部分+バックプレート)が 2.5mm 未満になった時、またはパッドの摩耗インジケーター(本書 P18)が現れた場合は、パッドを交換する必要があります。ブレーキパッドが摩耗し、ローターと左右のブレーキパッドの隙間が均等にならない場合は、両方のパッドを交換してください。

ブレーキシステムの取り付けが完了する前に、図の丸で囲んだシリンダー部を押さないでください。組み立て前にシリンダー部を押すと、予期せぬブレーキシステムの異常を引き起こす可能性があります。



図の丸で囲んだシリンダー部にあるボルトを外さないでください。ボルトを外すと、予期せぬブレーキシステムの異常を引き起こす可能性があります。



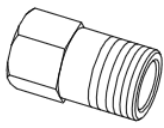
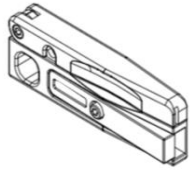
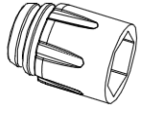
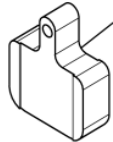

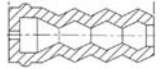
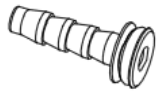
必要な工具

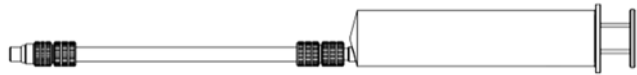
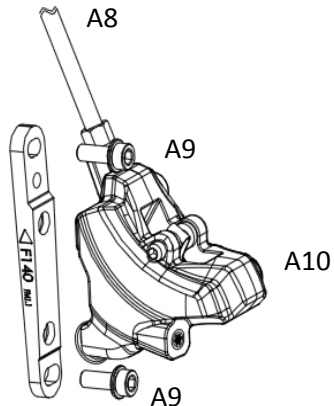
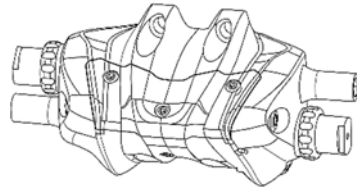


工具		規格/size	使用位置	締め付けトルク
六角レンチ		3 mm	ブレーキパッド固定ボルト	1.0-1.2 Nm
		4 mm	ステム固定ボルト	6 Nm
		4 mm	フラットマウントキャリパー	5-7 Nm
		5 mm	ポストマウントキャリパー	6-8 Nm
トルクスレンチ		T 15	ブレーキワイヤー固定ボルト	4.5 Nm
		T 15	ブリードポートボルト (マスターシリンダー)	0.8-1.2 Nm
		T 15	ブリードポートボルト (キャリパー)	0.8-1.2 Nm
フレアナットレンチ		8 mm	ホースコネクティングボルト	6-8 Nm

補修用パーツ

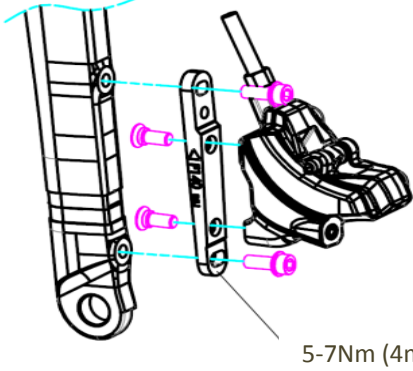
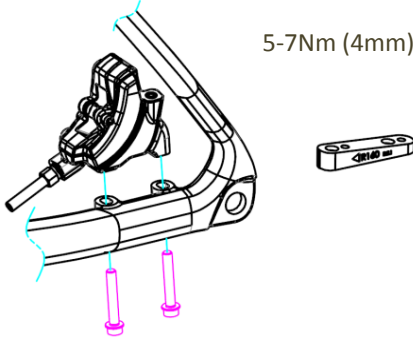
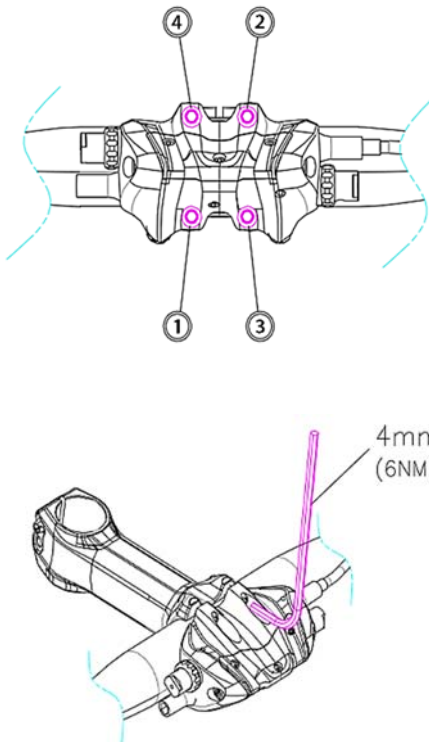
Gear SKU	品名	部品イメージ
290000056	コンダクト 2019 Conduct Brake Set - Post mount / With F&R140	
290000050	コンダクト 2019 Conduct Brake Set - Post mount / With F&R160	
290000051	コンダクト 2019 Conduct Brake Set - Flat mount / With F&R140	
290000052	コンダクト 2019 Conduct Brake Set - Flat mount / With F&R160	
290000053	コンダクト 2019 Conduct Brake - Master Cylinder Body	
290000033	コンダクト Conduct Disc Brakes - rotor 140mm	
290000034	コンダクト Conduct Disc Brakes - rotor 160mm	
290000035	コンダクト Conduct Disc Brakes - Disc brake pad blue color	
380000039	コンダクト 2019 Conduct Brake - WORK SHOP SERVICE KIT	
410000103	コンダクト 2019 Conduct Brake - Light/Computer/GoPro Mount Set	

部品名称

No	名称	形状	No	名称	形状
A1	コネクタースポルト		A5	ホースカッター	
A2	コネクタースカバ		A6	ブリードスペーサ	
A3	コンプレッションスリーブ		A17	インナーケーブルラバークャブ	
A4	コネクタースンサート				

No	名称	形状
A7	ブリーディング シリンジ	
A8	油圧ブレーキホース	
A9	キャリパーボルト	
A10	ブレーキキャリパー (フラット/ポストマウント) (含 M6 ボルト X4)	
A13	マスターシリンダー本体	
A14	ブレーキアウターケーブル	
A15	ブレーキインナーケーブル	

キャリパーとマスターシリンダー本体の取り付け

Description	
<p>1. フラットマウントまたはポストマウントアダプターを使用する場合、アダプターに刻印された UP の表示が上向きになるように固定します。締め付けトルクは 5~7Nm(4mm)。 ポストマウントの場合、締め付けトルクは 6~8Nm(5mm)です。</p>	 <p>5-7Nm (4mm)</p>
<p>2. フレーム/フォークのブレーキ台座とキャリパーの位置を合わせます。 フォークまたはフレームに、固定ボルト 2 本を使用してキャリパーを取り付けます。この時点では完全には締めつけず、仮止めしておきます。</p>	 <p>5-7Nm (4mm)</p>
<p>3. 4mmの六角レンチを使用し、ステムのハンドルバー固定ボルトを図のような順番で均等に締め、マスターシリンダー本体をステムに取り付けます。(締め付けトルク6Nm)</p>	 <p>4mm (6Nm)</p>

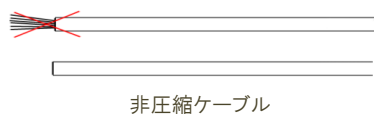
ブレーキアウターケーブルの取り付け

ブレーキアウターケーブル



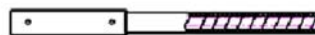
本システムのブレーキアウターケーブルは、2種類の異なるケーブルから構成されています。アウターケーブルの長さを調整するときは、非圧縮ケーブルの長さのみを調整し、フレキシブルケーブルの長さは変更しないでください。

注意事項



非圧縮ケーブル

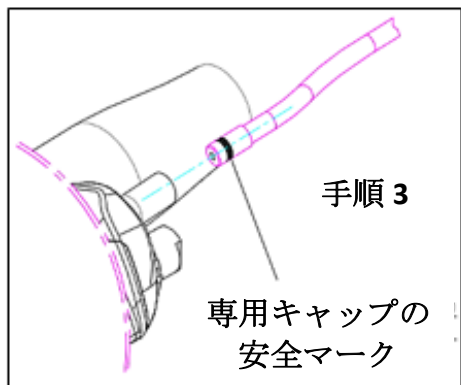
非圧縮ケーブルを切断するときは、ケーブルの切断面が均等で、ワイヤーがほつれて露出していないことを確認してください。



フレキシブルケーブル

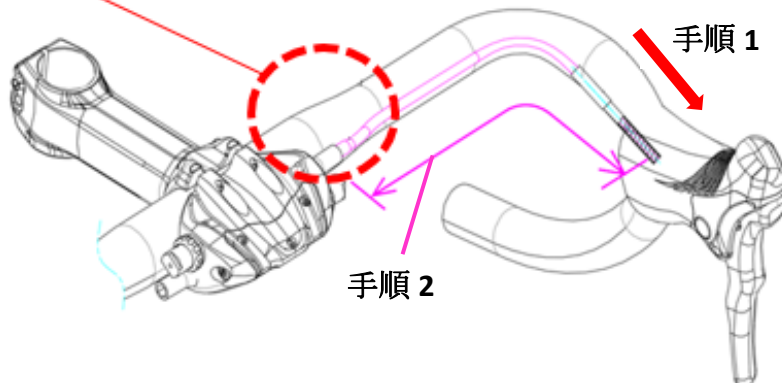
フレキシブルケーブルは、インナーケーブルとの摩擦を減らしブレーキタッチを向上させるアダプターとして機能します。

アウターケーブルの接続



手順3

専用キャップの安全マーク

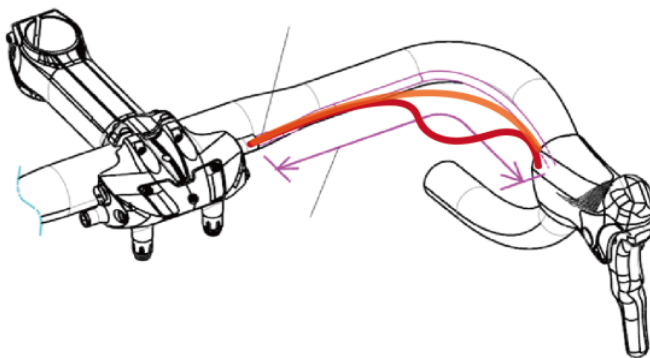


手順1

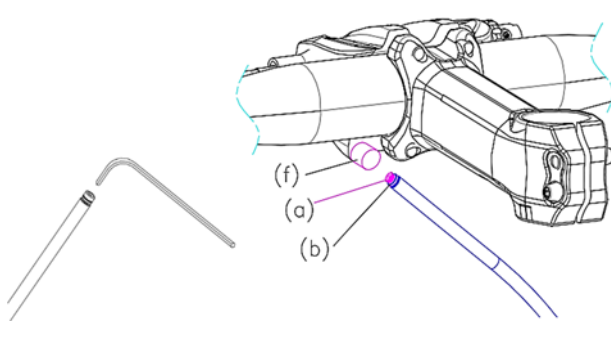
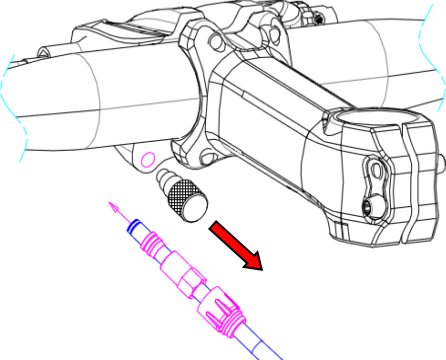
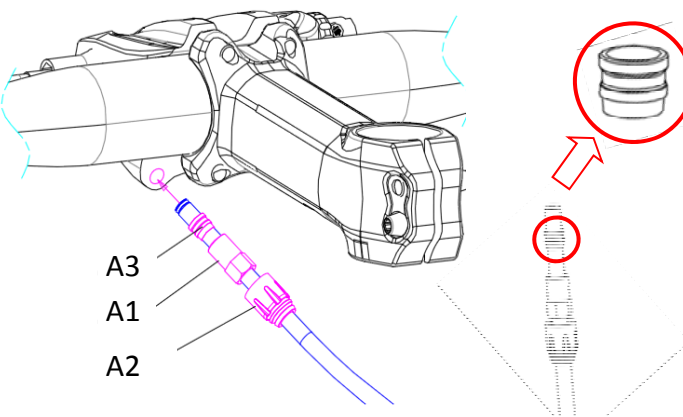
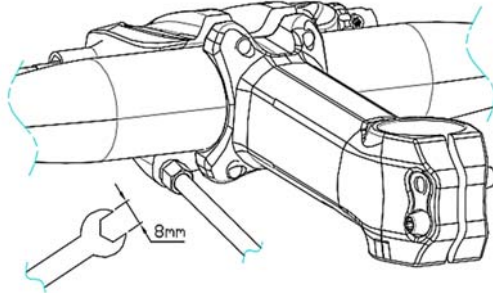
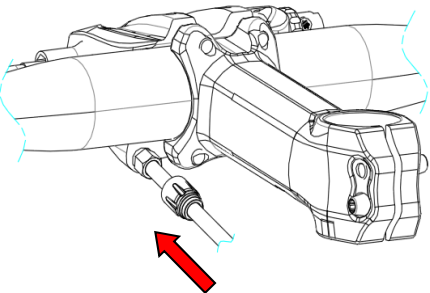
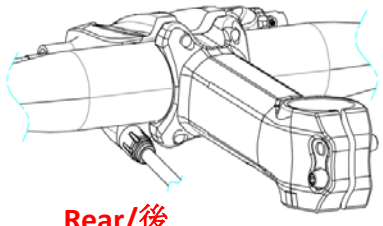
手順2

Notice:

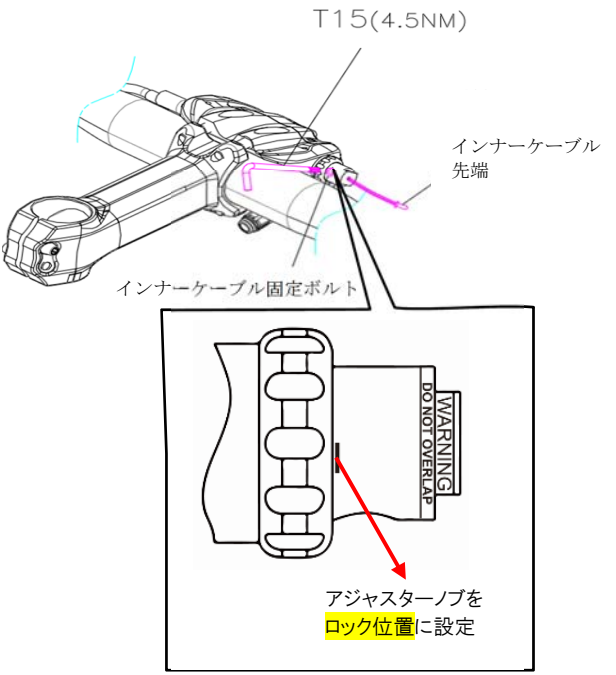
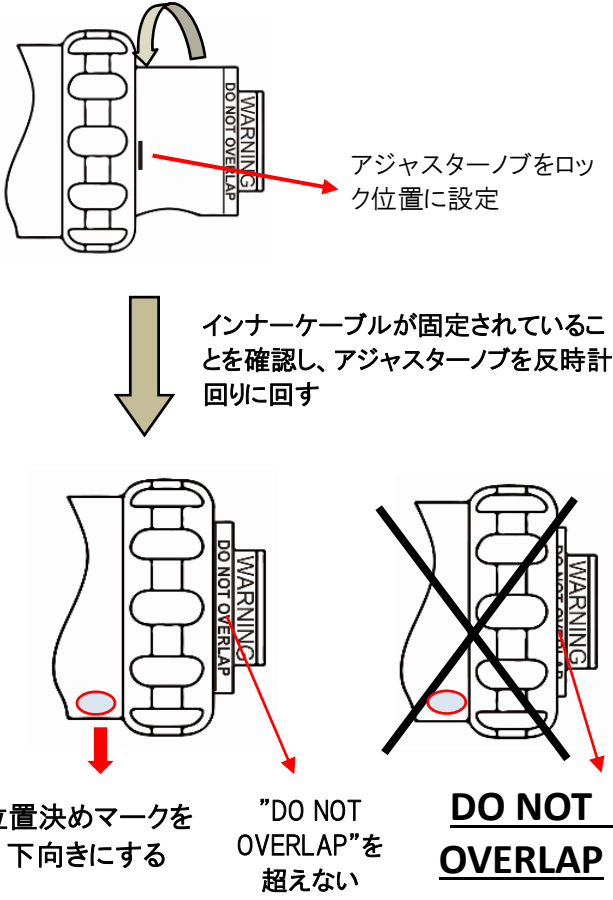
1. ブレーキレバー側に、フレキシブルケーブルを挿入してください。(図中、手順 1)
2. 非圧縮ケーブルの長さが適切かを確認してください。(図中、手順 2)
3. 非圧縮ケーブルの先端がマスターシリンダーに完全に押し込まれ、専用アウターキャップの白いライン(安全マーク)が見えなくなっていることを確認してください。(図中、手順 3)
4. バーテープを巻いた後、専用アウターキャップの安全マークがマスターシリンダーに押し込まれたままであることを確認してください。
5. 警告:アウターケーブルが長すぎるとたるみが生じ、ブレーキタッチと制動性能に悪影響を与えます。(下図の赤いライン)
警告:アウターケーブルが短すぎると(安全マークが見えている状態)ブレーキ誤作動の原因となり、深刻な怪我や死亡を引き起こす可能性があります。(下図のオレンジのライン)



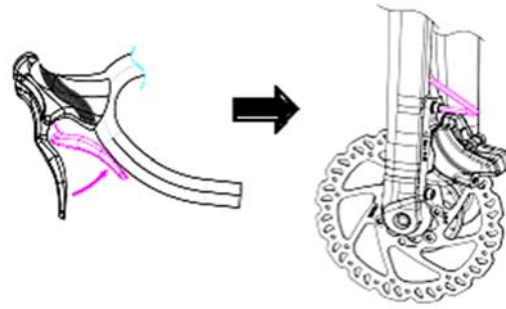
油圧ブレーキホースの取り付け

	
<p>1. 2mm の六角レンチを使用しブレーキホースのネジ蓋を取り外します。</p>	<p>2. マスターシリンダーからエンドプラグを取り外します。</p>
	
<p>3. コネクターカバー(A2)、コネクターボルト(A1)、コンプレッションスリーブ(A3)をブレーキホースに通し、コネクターインサート(A4)を取り付けます。正常に機能させるために丸で囲んだコンプレッションスリーブ(A3)の向きを確認してください。</p>	<p>4. 8mm のフレアナットレンチを使用しコネクターボルト(A1) を固定します。(締め付けトルク 7Nm)</p>
	
<p>5. コネクターカバー(A2)を取り付けます。</p>	<p>6. 同じ手順でもう片方のポートにブレーキホースを取り付けます。</p>

インナーケーブルとマスターシリンダーの接続

Description	
<ol style="list-style-type: none"> ブレーキレバーのリーチを最大/最長の位置に設定します。 右図のようにアジャスターノブを時計回りに回し、ロック位置(初期位置)に合わせます。 マスターシリンダーのインナーケーブル固定ボルトを緩めます。 注意: 傷や破損を防ぐため、T15 のトルクスレンチをねじに確実に差し込んでください。 インナーケーブルをレバー、アウターケーブル、およびマスターシリンダーに通します。マスターシリンダーに荷重をかけないようにインナーケーブルをピンと張ってください。 T15のトルクスレンチを使ってインナーケーブル固定ボルトを締め付けます。(締め付けトルク4.5Nm) 	
<ol style="list-style-type: none"> インナーケーブルが固定されていることを確認したら、アジャスターノブを“DO NOT OVERLAP”の位置まで反時計回りに回します(右図)。決して“DO NOT OVERLAP”の表示を越えないようにしてください。アジャスターノブを回し終わったら、必ず位置決めマークを下向きにしてください。 インナーケーブルが固定されていることを確認し、不要なケーブルを切断し、エンドキャップを取り付けます。 	

1. インナーケーブルがしっかりと固定されていることを確認します。
2. ブレーキレバーを最低 10 回は握って、ブレーキシステム内に空気が残っていないことを確認します。
3. 全ての部品が確実に取り付けられていることを再度確認します。
4. キャリパーの位置合わせをする際は、バイクを地面に置いた状態でしっかりとホイールを固定し、ブレーキレバーを握ります。キャリパーがローター上の中心に位置するところを保持し、キャリパー取り付けボルトを 5 ~ 7Nm のトルクで締め付けます。
5. バータープを巻いた後に、全ての機能を再度確認してください。

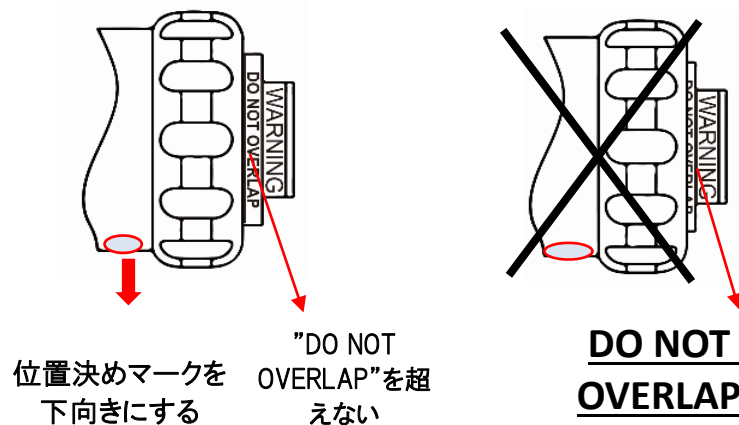


リーチとフリーストロークの調整


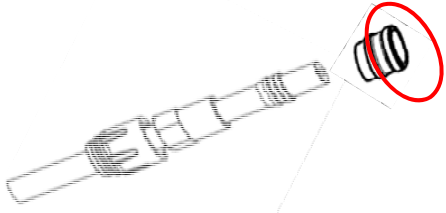
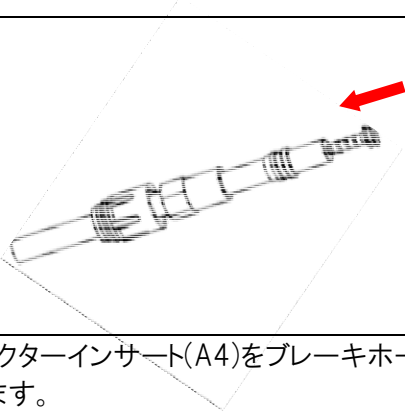
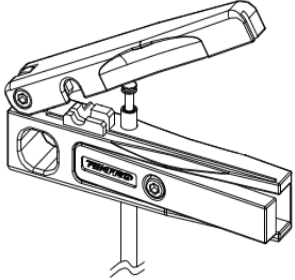
- ・ リーチ調整をする場合は、メーカーの推奨に従ってレバーのリーチを調整してください。
- ・ レバーのリーチ調整後、アジャスターノブを(DO NOT OVERLAP)の位置まで時計回りに回します。
- ・ アジャスターノブを回し終わったら、必ず位置決めマークを下向きにしてください。

▲ 警告 リーチ調整やブレーキレバーの違いに応じて、レバーの到達範囲および制動力に影響します。調整のたびにブレーキが適切に作動し、制動力が十分であることを確認してください。

▲ 警告 調整範囲が“DO NOT OVERLAP”の表示を超えないようにしてください、深刻なケガおよび死亡につながる恐れがあります。

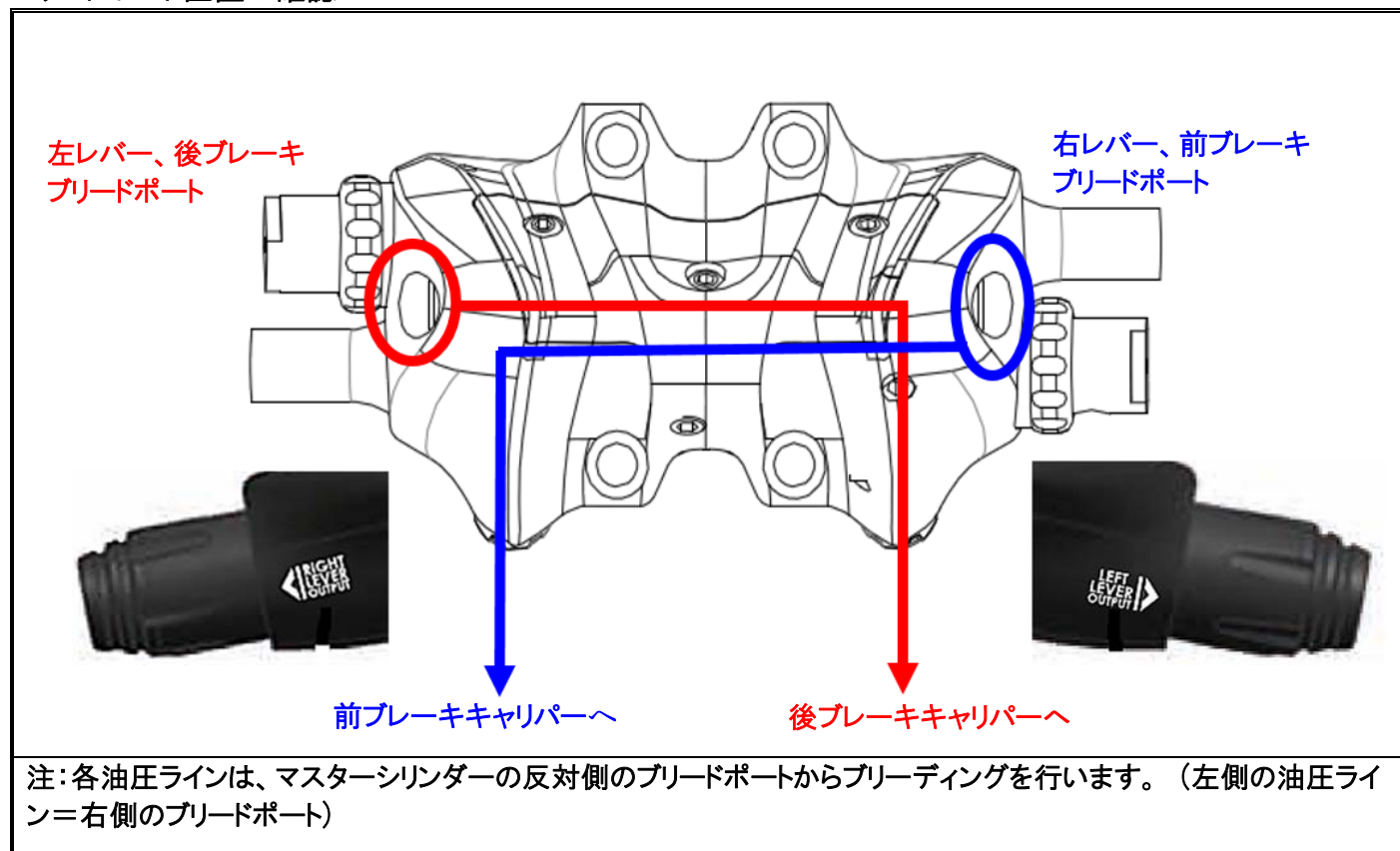


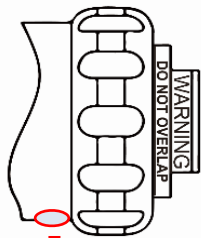
油圧ブレーキホースの長さ調整

	
<p>1. ホースカッターを使用し、ブレーキホースを切断します。</p>	<p>2. コネクターカバー(A2)、コネクターボルト(A1)、コンプレッションスリーブ(A3)をブレーキホースに通します。正常に機能させるために丸で囲んだコンプレッションスリーブ(A3)の向きを確認してください。</p>
	
<p>3. コネクターインサート(A4)をブレーキホースにセットします。</p>	<p>4. ホースカッターを使用し、コネクターインサート(A4)をブレーキホースにしっかりと挿入します。</p>

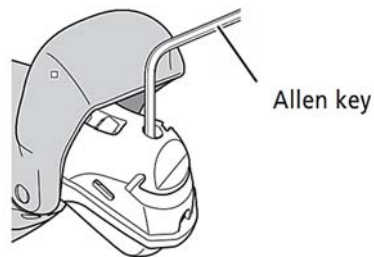
ブリーディング

ブリードポート位置の確認





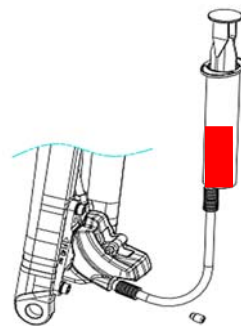
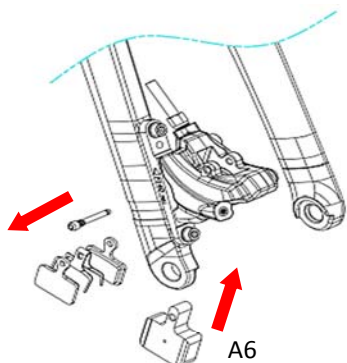
位置決めマークを下向きにする



Allen key

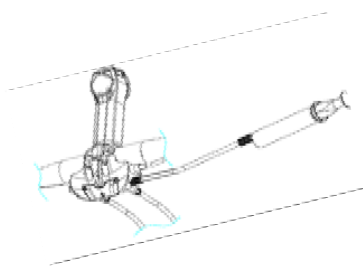
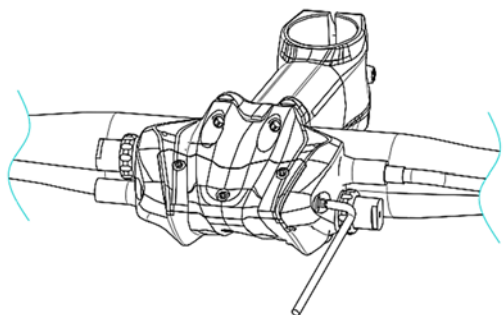
1. アジャスターノブを反時計回りに回し、“DO NOT OVERLAP”の位置まで回します。決して“DO NOT OVERLAP”の表示を越えないようにしてください。

2. ブレーキレバーのリーチを最大/最長の位置に設定します。

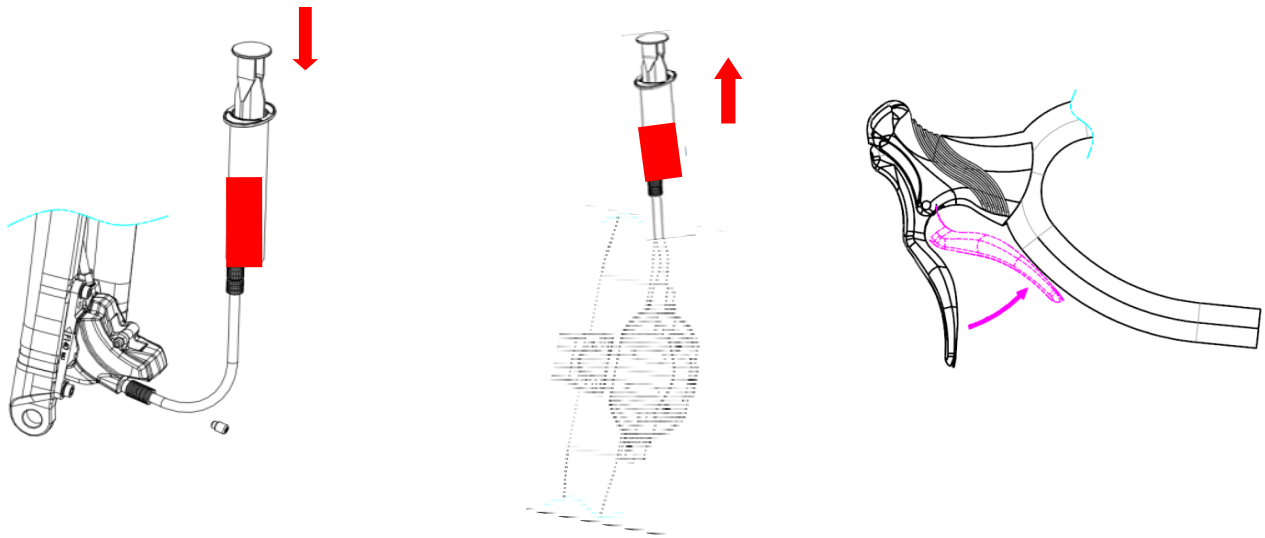


3. ブレーキパッドを取り外し、キャリパーにブリードスペーサーを挿入します。

4. キャリパーのブリードポートネジを取り外し、20ccのミネラルオイルを充填したシリンジを取り付けます。

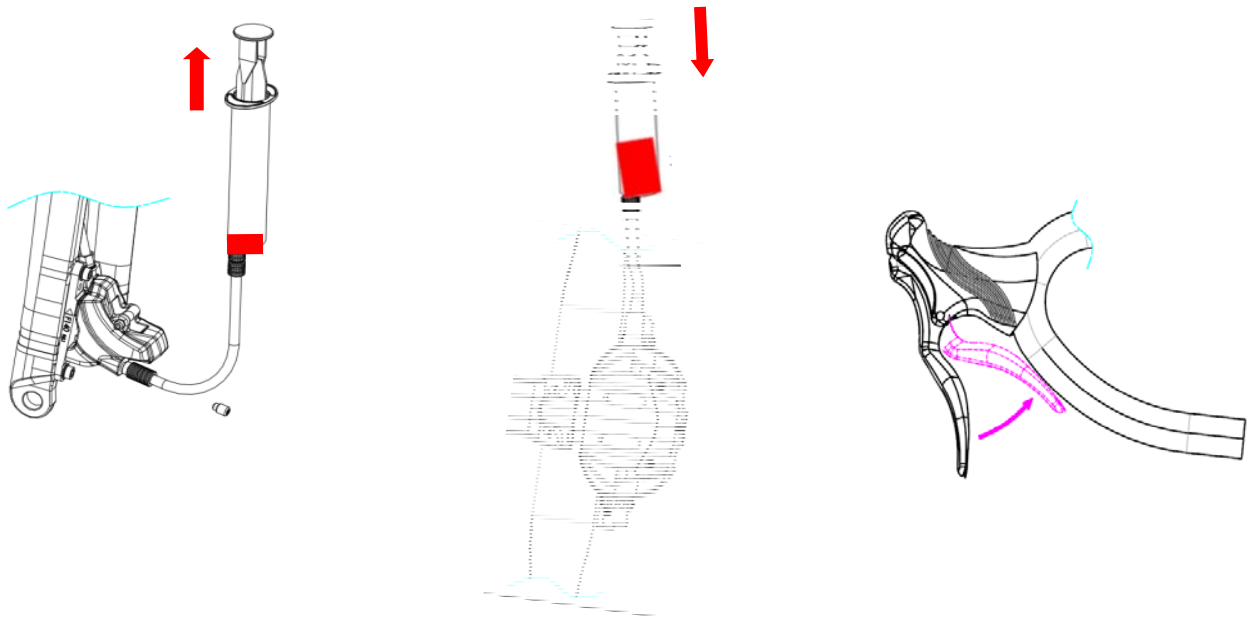


5. 適切な側のマスターシリンダーのブリードポートネジを取り外します。
 6. マスターシリンダーに 5cc のミネラルオイルを充填したシリンジを取り付けます。ブリーディングを始める前に、両方のシリンジが正しく取り付けられていることを再度確認してください。



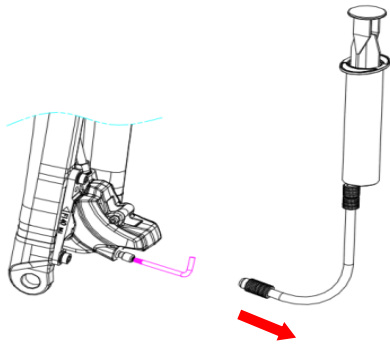
7. キャリパー側のシリンジを押し、ミネラルオイルを注入します。マスターシリンダーを45～90度傾けながら内部の空気を排出していきます。

8. ミネラルオイルを注入しながらブレーキレバーを操作することで、より効率よく空気が排出されていきます。↑

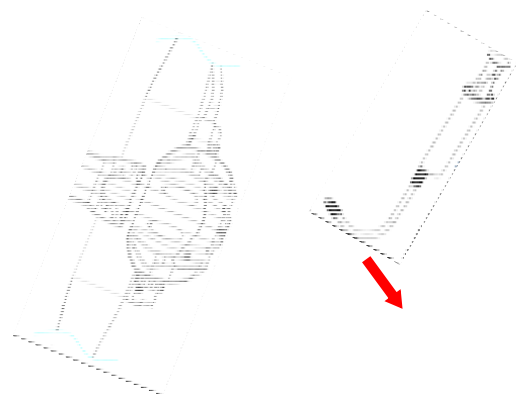


9. キャリパー側のミネラルオイルをすべて注入したら、マスターシリンダー側のシリンジを押し、ミネラルオイルをシステム内に戻します。マスターシリンダーを45～90度傾けながら内部の空気を排出していきます。

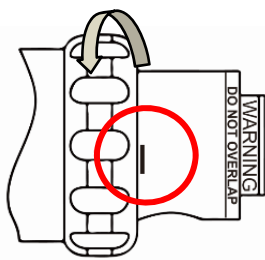
10. マスターシリンダー側のシリンジを押し込んだままブレーキレバーを操作することで、より効果的にブリーディングを行うことができます。



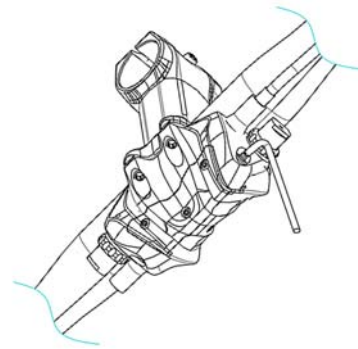
11. ブリーディングが完了したら、キャリパー側のシリンジを取り外し、ブリードポートネジを取り付けます。(締め付けトルク 1.5~2.0Nm)



12. ブリードポートが上を向いた状態でマスターシリンダー側のシリンジを取り外します

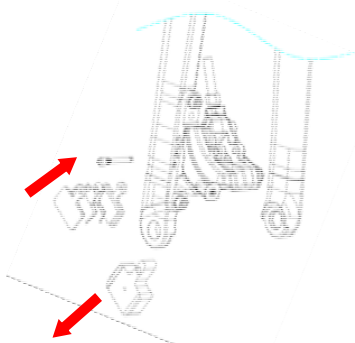


13. 図のようにアジャスターノブを時計回りに回し、ロック位置(初期位置)に合わせます。

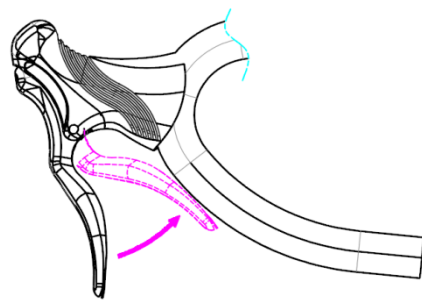


14. ブリードポートネジを取り付けます。(締め付けトルク 1.5~2.0Nm)

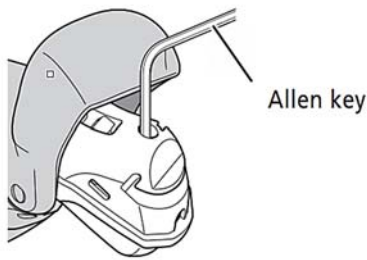
注意:ステップ 13 は必ずステップ 14 の前に行ってください。ブリードポートネジを取り付ける前に、アジャスターノブをロック位置にセットする必要があります。



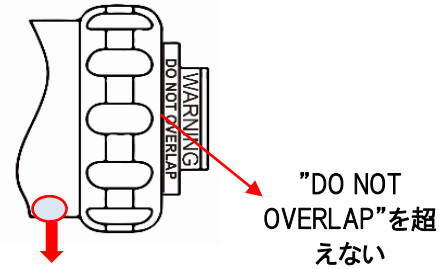
15. パーツクリーナーなどで表面に付いたオイルを拭きとったら、ブリードスペーサーを取り外し、パッドを取り付けます。



16. ブレーキレバーをしっかりと握り、ブレーキが正しく機能しているかを確認してください。



Allen key



ポジションマークを下向きにする

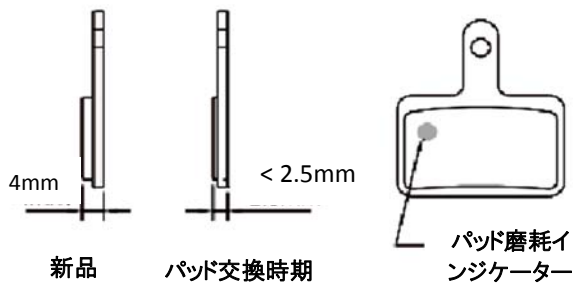
17. メーカーの推奨に従ってレバーのリーチを調整します。

18. アジャスターノブを“DO NOT OVERLAP”の位置まで回します。決して“DO NOT OVERLAP”の表示を超えないようにしてください。

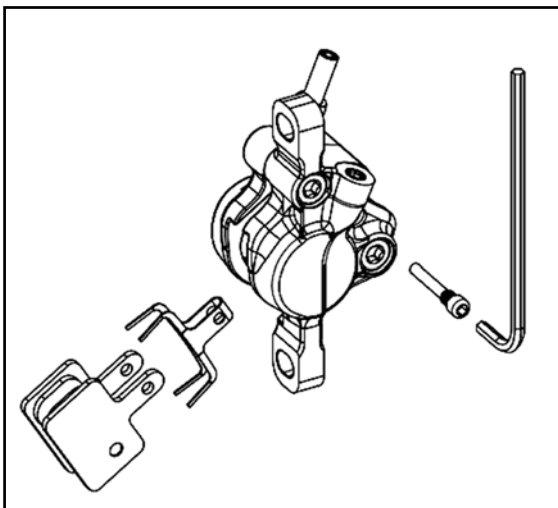
ブレーキパッドの交換

警告【重要】

- ・ジャイアントが推奨しないブレーキパッドを組み合わせてコンダクトSLブレーキシステムを使用した場合、保証が無効になります。
- ・ブレーキパッドが摩耗し、ローターと左右のブレーキパッドの隙間が均等にならない場合は、両方のパッドを交換してください。隙間が不均一な状態で使用することは故障の原因となり、重大な怪我を引き起こす場合があります。



- ・ブレーキパッド全体の厚さ(パッド部分+バックプレート)が2.5mm 未満のとき、またはパッドの摩耗インジケーターが現れた場合は、パッドを交換する必要があります。



- ・3mm 六角レンチを使って、パッド固定ボルトを緩めます。
- ・パッド固定ボルトから割ピンを抜きます。
- ・パッド固定ボルトを引き抜き、パッドと押さえバネをキャリパー本体から取り出します。
- ・取り外しとは逆の手順で新しいパッドを取りつけます。この時キャリパーのピストンは戻しておきます。
- ・キャリパーにパッド固定ボルトを挿入し、割ピンを差し込みます。
- ・必要に応じてキャリパーの固定位置を調整してください。